



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 袖山 英則 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,615	△10.1	37	4.0	28	9.0	12	△6.9
28年3月期第1四半期	2,908	4.5	36	ー	25	ー	13	ー

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 21百万円 (39.1%) 28年3月期第1四半期 15百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.01	ー
28年3月期第1四半期	2.16	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	6,754	1,558	23.1	249.11
28年3月期	6,582	1,537	23.4	245.74

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,558百万円 28年3月期 1,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
29年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
29年3月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(％表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.9	270	△14.0	200	△26.1	100	△27.9	15.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	7,275,000株	28年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,018,908株	28年3月期	1,018,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	6,256,092株	28年3月期1Q	6,258,080株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、緩やかな回復基調が続きましたが、株式市場の低迷や円高の進行による企業収益の改善ペースの鈍化により、先行き不透明な状況となっております。さらに、個人消費においても実質所得の伸び悩みや節約志向の継続から低調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは「一人一人が知恵と力を尽くし、一歩前進する」を年度スローガンとし、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,615百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業利益は37百万円（前年同四半期比4.0%増）、経常利益は28百万円（前年同四半期比9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失（投資有価証券評価損）の計上の影響により12百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりましたが、受注の減少により売上高は1,547百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。営業利益は販売費及び一般管理費の一部削減もあり89百万円（前年同四半期比45.0%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、昨年4・5月に開催された長野市の善光寺御開帳にて売上が大幅に伸びた「善光寺旬粋店」における前年度の反動及び全般的に販売額が減少したことにより売上高は287百万円（前年同四半期比41.5%減）となり、営業損失は4百万円（前年同四半期は55百万円の営業利益）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりましたが受注が伸びず、特に前年度の善光寺御開帳関連商品分が大幅に減少しました。売上高につきましては、長野県外への販売機能を機動的に行うために前年第3四半期よりみやげ卸売部門から当みやげ製造部門へ移管したことにより44百万円が発生しましたが、営業損失は7百万円（前年同四半期は15百万円の営業利益）となりました。

④温泉施設事業

温泉施設事業は、各種イベントを積極的に企画・情報発信・実施すると同時に、接客・サービスのレベルアップ及び各施設においてリピーターの増加に努めた結果、売上高は398百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、営業利益については一部原価の低減等により4百万円（前年同四半期は23百万円の営業損失）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は26百万円（前年同四半期比0.7%減）となり、営業利益は修繕費等の大幅な減少により6百万円（前年同四半期比62.2%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。またユーザーに合わせた各種情報の収集とSNS等による情報発信を積極的に行った結果、売上高は169百万円（前年同四半期比0.7%減）となりましたが、営業利益は販売費及び一般管理費の削減により16百万円（前年同四半期比67.0%増）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりましたが、売上高は141百万円（前年同四半期比5.4%減）となり、営業利益は粗利率の低下等により2百万円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円（7.9%）増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が77百万円、商品及び製品が102百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円（1.3%）減少いたしました。これは主に有形固定資産が12百万円、投資その他の資産が35百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円（2.6%）増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円（1.8%）減少いたしました。これは主に未払法人税等が64百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,126百万円と

なり、前連結会計年度末に比べ209百万円(10.9%)増加いたしました。これは主に長期借入金が214百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円(3.0%)増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円(1.4%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は23.1%(前連結会計年度末は23.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日開示の平成28年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,374,658	1,391,179
受取手形及び売掛金	788,983	866,478
商品及び製品	480,211	582,521
原材料及び貯蔵品	76,684	81,241
その他	76,205	95,951
貸倒引当金	△2,343	△2,743
流動資産合計	2,794,399	3,014,628
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	969,288	963,134
土地	1,004,650	1,004,650
その他(純額)	270,108	263,686
有形固定資産合計	2,244,047	2,231,471
無形固定資産	67,852	67,674
投資その他の資産		
敷金及び保証金	929,642	897,714
その他	562,077	556,510
貸倒引当金	△15,428	△13,062
投資その他の資産合計	1,476,291	1,441,161
固定資産合計	3,788,191	3,740,307
資産合計	6,582,590	6,754,936
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,312	485,706
短期借入金	2,203,907	2,159,100
未払法人税等	85,835	21,463
賞与引当金	49,596	100,985
返品調整引当金	4,518	3,682
ポイント引当金	11,893	11,977
その他	315,830	287,130
流動負債合計	3,127,895	3,070,045
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,330,723	1,545,312
役員退職慰労引当金	69,104	65,529
資産除去債務	345,242	347,064
その他	72,271	68,510
固定負債合計	1,917,341	2,126,416

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債合計	5,045,236	5,196,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	37,716	50,321
自己株式	△200,344	△200,344
株主資本合計	1,545,690	1,558,294
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△8,336	179
その他の包括利益累計額合計	△8,336	179
純資産合計	1,537,353	1,558,474
負債純資産合計	6,582,590	6,754,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,908,491	2,615,028
売上原価	2,180,068	1,953,472
売上総利益	728,423	661,555
販売費及び一般管理費	692,045	623,721
営業利益	36,378	37,834
営業外収益		
受取利息	2,031	1,798
受取配当金	386	285
仕入割引	1,131	915
受取事務手数料	840	512
その他	1,515	2,094
営業外収益合計	5,904	5,606
営業外費用		
支払利息	16,199	15,168
その他	349	228
営業外費用合計	16,549	15,397
経常利益	25,733	28,043
特別利益		
固定資産売却益	411	176
特別利益合計	411	176
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,475
特別損失合計	—	13,475
税金等調整前四半期純利益	26,144	14,745
法人税、住民税及び事業税	11,845	17,850
法人税等調整額	760	△15,709
法人税等合計	12,606	2,141
四半期純利益	13,538	12,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,538	12,604

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	13,538	12,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,646	8,516
その他の包括利益合計	1,646	8,516
四半期包括利益	15,185	21,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,185	21,120
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,684,740	491,031	—	386,223	26,266	170,701	2,758,963	149,528	2,908,491	—	2,908,491
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	51,670	—	154,163	—	6,000	—	211,833	100,981	312,815	△312,815	—
計	1,736,410	491,031	154,163	386,223	32,266	170,701	2,970,797	250,509	3,221,306	△312,815	2,908,491
セグメント 利益又は 損失(△)	61,594	55,816	15,273	△23,733	4,260	9,873	123,084	3,647	126,732	△90,354	36,378

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,547,828	287,330	44,280	398,547	26,078	169,563	2,473,627	141,400	2,615,028	—	2,615,028
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	43,874	—	70,695	—	6,030	—	120,600	91,215	211,815	△211,815	—
計	1,591,702	287,330	114,976	398,547	32,108	169,563	2,594,227	232,616	2,826,844	△211,815	2,615,028
セグメント 利益又は 損失(△)	89,312	△4,206	△7,521	4,281	6,911	16,483	105,261	2,290	107,552	△69,717	37,834

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。